

## 今が旬です「豊浜の梨」－災害から復興、地域ブランドを全国に－



豊浜の梨」は香川県の特産果樹として知られていますが、その歴史は古く、約百年前に溯ります。当時の稲作農家が副業として、日当りの良い斜面で梨やミカンなどの果樹栽培を行ったのが始まりと言われています。その中で梨栽培が盛んになったのは、比較的病害虫に強く、手のかからない二〇世紀梨が品種として確立しており、地質や気候に適していたためとされています。現在では、赤梨系で糖度の高い幸水、豊水などの品種が多く栽培されています。

梨の栽培方法は高さ2メートル程度の平棚に枝を這わせ水平に茂らせていきます。これは、日光を多くの枝に当て、果実の量と味を良くすると共に、台風などの風害を避けるためであります。しかし、平成十六年の台風では、地域は甚大な被害を受けました。栽培農家は「豊浜の梨」を守るために、そこから立直り、地域ぐるみで産地再生に努め、更なるブランド化を図っています。

平成二十年度には「元気な地域づくり交付金」を活用し、地域のブランド化を推進するため、野々池大坪農道を整備し、地域の流通体系の改善を行いました。また、栽培農家の奥さんたちで構成する、梨加工研究会は「梨ジャム」「焼肉のタレ」などの特産品を開発し、販売活動の強化に資するとともに、地域経済の活性化及び農業振興に貢献しています。

西讃土地改良事務所

